

京都芸術デザイン専門学校入学式祝辞

2016年4月2日

尾池和夫

本日、京都芸術デザイン専門学校に入学された194名の皆さん、また、専攻科に進学された13名の皆さん、おめでとうございます。ご家族の皆さま、こころからお祝い申し上げます。

この瓜生山の地には、学校法人瓜生山学園が設置する京都文化日本語学校、京都造形芸術大学、こども芸術大学、そして皆さんの京都芸術デザイン専門学校があります。

学園全体では、京都造形芸術大学の通信教育部の学生を含めて約10000人の学生が学習しています。それらの皆さんが相互に交流して、学習の奥行きを深め、学習の幅を広げてほしいと私は思っています。学園生活の中で、瓜生山学園の仲間と交流し、さらなる挑戦を考える方は、大学への3年次編入学の機会も利用することができます。今年も大学には、17名の3年次編入学の学生を迎えました。専門学校を卒業した後に、仕事しながら通信教育部を活用する方もいます。在学中の専攻コース間の連携による社会活動も、大いに利用してほしいと思います。

この学園の59段の大階段を登った所に『藝術立国之碑』が立っています。黒御影石には、3行の言葉ありますが、私はそれは東洋に伝わる「天地人」の思想だと思っています。まず最初の「宇宙の神秘に平伏せ」という言葉で、宇宙のことを考えてみてください。私たちが観測できる宇宙は137億年前に生まれことがわかっています。生まれてすぐ「ビッグバン」と呼ばれる現象があり、それによって時間と空間が生まれ、今あなたたちが感じている4次元の世界が生まれました。ハワイのマウナケアの山頂にあるスバル望遠鏡がとらえたいちばん昔の星は、128.8億年前の星です。電灯を消したときに真っ暗になって「光は消えるもの」と思いがちですが、望遠鏡で128.8億年前に星を観測できるということは、光は消えないということなのです。

「地球の偉大さに畏れを抱け」という2行目は地球のことです。まず、身近にある大地の観察から始めて地球のことを理解してほしいと思います。この専門学校のある京都市左京区には、大学の近辺だけでも多くの考古学遺跡があることが知られています。平安京ができるよりも前から、この地には愛宕（おたぎ）郡粟田郷という地名があって粟田氏一族が繁栄していました。桓武天皇が平安京に奈良から寺院を移さなかったのですが、洛外には寺を認めていました。そのためにこの地域には遺跡がありません。瓜生山学園の北には向畑遺跡があり、大学のある瓜生山周辺には、東山山系の西の麓に形成された扇状地である北白川扇状地に位置する北白川廃寺跡、上終町遺跡、小倉町別当町遺跡、追分町遺跡などが知られています。さらにその前には縄文人が住み、古代アイヌ語を話していました。その名残が北白川や瓜生山の名に残っています。

これらの遺跡は、花折断層帯に沿って並んでいます。都の鬼門である比叡山から南へ東山三十六峰が連なり、東山を隆起させる花折断層が京都盆地の東を縁どっているのです。比叡山と如意ヶ嶽の間の花崗岩帯から浸食された大量の白砂が盆地に流れ出て北白川扇状地を形成しています。

「生きとし生きる命を愛し尊べ」という3行目は、人を含むあらゆる命ですが、ここでは人との交流を考えてみましょう。皆さんが、例えばデザインを専門の仕事にするとして、デザインとは何かを考えることでしょうか。皆さんが作品を展示したとき、見るだけで作者の意図が伝わるデザインばかりとはかぎりません。簡単なデザインであってもどのような経緯でたどり着いた作品であるかを見る人に知ってもらうことが重要です。

すぐれたデザインを生み出すことは当然の目標ですが、それと同じくデザインを伝える力を獲得することも大切な目標です。そこに専門学校が大学や日本語学校とともに設置されていることの意味があります。大いにその利点を活用して作品を生み出し、作品を語る力を身につけていただきたいと思います。

このような宇宙や地球や人のことなどを意識しながら、大階段を昇って足腰を鍛え、芸術とデザインを学び、しっかりと人生を設計して就職を目ざす、そのような学園生活を愉しんでいただくようお願いして、瓜生山学園の仲間からの、お祝いの言葉といたします。

ご入学、まことにおめでとうございます。

ありがとうございました。

(当日の挨拶をもとに書き加えました。)